木曽川文庫

木曽川文庫は治水の資料館。
水の大切さや恐ろしさを歴史から学び、
これからの治水を皆様とともに考えていきたいと思っています。
春号は、中部地方の水源地域である金山町から、
その歴史と岩屋ダムの開発を中心に、「川と街道」シリーズでは、河渡宿と中山道を特集します。

INDEX

ふるさとの街・探訪記 〈益田郡金山町〉
・美濃と飛騨を結ぶ交通の要衝として成長した金山町
・岩屋ダム事業と金山町の多彩なプロジェクト

気ままに

・親しみの水、雄々しい緑、
金山は神聖な生きものの聖域

歴史ドキュメント

・姫宮が通行した中山道と河渡の渡し

TALK&TALK

・河渡宿の設定と長良川

民話の小箱

・昔話の乙姫さま

国土交通省中部地方整備局
木曽川下流工事事務所
麗しの水、雄々な緑。

水の国美浦
山の国飛騨へ

春の女神、ギヨミ

金山は神秘的な生きものの聖域

麗しの水、雄々な緑。

春の女神、ギョミ

金山橋から天王

金山のキャップレスギョミの尾の
町の通りに求めギョミが изготовлен
れるのが知られている。

春の女神、ギョミ

金山は神秘的な生きものの聖域

麗しの水、雄々な緑。

春の女神、ギョミ

金山橋から天王
歴史ドキュメント

河渡の始まり

河渡の始まりは、六七世紀の渡し船で、河渡の町名はその由来から来ている。河渡の交通の要衝であり、舟運の重要性を示している。

河渡の町

河渡の町は、江戸時代に築かれた舟町で、舟運の中心地に位置していた。町には舟運を支えるための施設が立ち並んでいた。

河渡の文化

河渡の北側には、火を使わずに建築された石造りの廃墟が建っていた。この廃墟は、火を使わずに建築されたことから「火に売らない廃墟」と呼ばれている。

河渡の歴史

河渡は、江戸時代から現在に至るまで多くの文化財を残し、歴史的にも重要な場所である。現在は、河渡の歴史を学べる博物館が設置されている。

河渡の観光

河渡の観光は、歴史的な町並みを楽しむだけでなく、舟運の文化を学び、江戸時代の生活を体験することができる。

河渡の今

現在の河渡は、舟運の文化を守り、新しい歴史を創り出している。舟運の歴史を学び、新しい文化を育てることで、河渡はまたとまらない未来が広がっている。
民話の小箱

登山の乙姫さま

益田郡金山町

編集後記

明治改革木曾川三段落成記念の茶事が木曾川文庫に入りました。贈呈者は名古屋市の早川さん。従来は、当時内務省土木局長西村国光作の漢詩が書かれています。

今号の編集にあたって、岐阜県益田郡金山町の皆様、及び丸山幸太郎氏のご協力いただきありがとうございました。お礼申し上げます。

次回は、海津郡海津町を特集します。ご期待ください。

木曾川文庫ホームページ

表紙写真

左：金山町の深流

右上：加藤素音記念館

右下：幻の蝶、ギフチョウ

岩屋岩鐘遺跡

木曾川文庫ホームページ